

第5回 教育推進プラン・江東策定委員会 意見一覧

No	種別	場所	施策	意見・質問要旨	回答
1	意見	委員会	全般	説明書的な計画では字をあまり見ない可能性があるため、目に留まるような見やすさやデザインを検討してほしい。他区では、ポップなデザインの計画も見受けられた。	見やすいこと、見て理解しやすいことが大事と考えますので、デザインも含め検討いたします。
2	意見	委員会	全般	こどもたちも計画が見られるように工夫してほしい。	こどもたちにも見てもらえるような「こども版」をつくることも検討いたします。
3	意見	委員会	全般	計画を見たことがない区民（保護者）も多いため、関心を持って教育について考えてもらうためにも、見てもらう機会が必要。	区の公式のホームページでも公開いたしますので、区民への周知の方法や、見ていただけるような工夫を検討してまいります。
4	意見	シート	全般	プランの策定にあたり、こどもからの意見聴取が行われたことはとても評価できる。こどもの意見が、プランのどの部分に反映され施策につながっているか、しっかり返していくことが、こどもたちを育てていく上で重要である。こどもたちに還元していく場面を、プランの公表時にあらかじめ位置付けておくことを強く要望する。	計画本編にこどもの意見反映の概要を掲載するとともに、各施策の内容に関するこどもからの意見を同ページ内に掲載します。また、計画の「こども版」の作成にあたっては、意見との関連付けの方法を検討します。
5	意見	シート	2	チャレンジウェンズデーのような自分で考えて行う教育を今後も続けてほしい。	こどもが主体的に考え、活動することを大切にしています。今後も日常の授業やその他の教育活動において、こどもたちが主体的に取り組めるよう支援していきます。

No	種別	場所	施策	意見・質問要旨	回答
6	意見	シート	8 11	「Action24」に基づいて早期発見・早期対応・早期解決を目指し、いじめ問題対応を徹底するとしているが、本来、いじめ問題の根底にある差別や偏見を見逃さず、いじめはどんな理由があっても許されない行為であるという人権意識をこどもたちにもっと徹底すべきであると考えている。	教員のいじめ対応への資質・能力向上に向けて、「いじめ見逃し0をめざす」リーフレットを研修資料として作成しています。リーフレットにも記載している、生命や人権を大切にする態度の育成については、「いじめを許さない学校・学級づくり」に向けて引き続き大切にしていきます。
7	意見	シート	13	こどもにとって、友人や仲間などと互いに自己肯定感を持っている認識を育てることも必要。	本区では、こども主体の取組を推進しており、今年度の意識調査では自己肯定感を感じている児童・生徒数も向上しているため、引き続き取組を推進していきます。
8	意見	委員会	17	2つ目の「小学校ではパラリンピック種目であるボッチャを体験できる機会を設けています」では打ち出し方が弱く、スポーツ振興課との連携ができていないと毎回感じているので、そのあたりを検討してほしい。	素案に記載した区内スポーツ施設等における体験や競技観戦はスポーツ振興課が行っているところでもあるので、しっかりと連携を図っていきます。記載内容についても、検討いたします。
9	意見	シート	21	「「KOTOこどもかがやきプラン」の充実」は、単に不登校の解消だけを目指すのではなく、魅力ある学校風土の醸成、多様な学びの場の保障、個に応じた支援という視点で総合的に取り組んでいることはとても評価できる。	
10	意見	シート	22	インクルーシブ教育について、「教職員の専門性向上、理解等の促進」のレベルに留まっていることが残念である。江東区として、中・長期的な視点でインクルーシブ教育をどのように進めていくのかをプラン上に示していくことも考えていくべき。	個別の教育的ニーズのあるこどもに対して、自立と社会参加を見据えて連続性のある「多様な学びの場」について、プランへの示し方を検討してまいります。

No	種別	場所	施策	意見・質問要旨	回答
11	意見	シート	25	学校を欠席した際に、授業で学んだ箇所や宿題が分かるようにタブレットに掲示してほしい。	学校では丁寧にオンライン配信などを行っている状況がありますので、さらにこども一人一人に寄り添った実施方法について検討してまいります。
12	意見	委員会	25	「様々な学習コンテンツや授業のオンライン配信を活用し、どこでも学習や相談等できる」とあるが、DXを活用して、休んだ日の授業や過去の学年のコンテンツも見ることができるなどの支援を検討してほしい。	
13	意見	委員会 シート	29	自国に対する文化を知らないのではなく、日本人として誇りをもって外国に羽ばたいてほしい。そのために、伝統文化を体験する機会を設けていただきたい。 (小学校で茶道の世界に触れる機会を設けており、こどもたちは姿勢を正して楽しんでいる。)	各学校園で、お茶会をはじめとした地域性を生かして、こどもたちが伝統文化を学ぶ機会を設けていますが、他にもどのような方法があるのか検討してまいります。
14	意見	委員会	29	「日本の伝統・文化を体験、理解する機会を設ける」ところでは、書道においても理解をする機会を設けていただきたい。	
15	意見	委員会	31	スクールソーシャルワーカーについて、予算が許すのであれば、1校に1人いると連携も取りやすく、こどもに対しても深く対応できるのではないかな。	スクールソーシャルワーカー（SSW）の増員については、予算措置の調整に努めます。 現在、SSWは巡回制となっていますが、教育センターの職員やSSW同士と情報交換できるような、体制の強化を図っていきます。

No	種別	場所	施策	意見・質問要旨	回答
16	意見	シート	30 ～ 33	相談体制について、学校と地域の関連性はあると思うが、これまでと同様に充実させてほしい。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、専門職同士での連携強化を図るなど、相談体制の充実に努めます。 また、今後の相談件数の推移によって、相談に必要な人員を確保できるよう検討していきます。こどもや保護者等が相談しやすい環境づくりは、引き続き工夫して取り組んでいきます。
17	意見	シート	30 ～ 33	担任の先生以外で相談できる人を増やすなど、こどもたちが相談しやすい環境にしてほしい。	
18	意見	シート	34 ～ 36	児童数増加により、週に2回しか自由時間に外遊びができない小学校ある。	マンション開発等により一時的に児童数の増加している学校がありますが、こどもが生活しやすい環境を可能な限り確保できるよう適切に収容対策を図ってまいります。
19	意見	シート	35 36 41	近年、熱中症が心配される高温の日が続いているため、校庭にミストや日陰で水を飲めるスペースがあると良い。	改築、改修に合わせドライミスト、日よけ等の施設整備を検討していきます。
20	意見	委員会 シート	45	コミュニティ・スクールの設置は順次という記載になっているが、全校に設置していくことが必須の課題ではないかと考えている。学校が地域と連携・協働して学校づくりを進めていく必要性が叫ばれ、地域学校協働本部が全校設置されている一方で、コミュニティ・スクールの全校導入されていないことがとても残念である。各学校の事情はあることは十分承知しているが、各学校にシステムとして学校運営協議会を設置して「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すべきと考える。	区としては全校導入を目指していますが、目標年次等を定めると導入ありきになりかねないため、準備のできたところから随時導入で考えています。しかしながら、最終到達点は全校導入と考えていますので、記載内容については改めて検討します。

No	種別	場所	施策	意見・質問要旨	回答
21	意見	委員会	47	ウィークエンドスクールや土曜・放課後学習教室について、地域によって差があるが、地域だけでは賄い切れない部分があるため、サポートしていただきたい。	地域住民が運営を担っていただいているため、できるところ、できないところの差がありますが、実施できるところについては必要な活動ができるように予算措置等に努めてまいります。
22	意見	シート	55	デジタルを教える専門の先生を検討してほしい。	各学校に一人以上、「情報教育」を担当する教員がおり、さらにICT支援員を配置している状況です。今後も各校でICT教育が推進できるよう支えていきます。
23	意見	委員会 シート	59 ～ 61	紙の本で見る、読み聞かせをするということがとても重要である。いい本に出合うということは、今後の人生において大事なことだと思うので、読書環境をさらに充実させてほしい。	第3期では、学校の図書室のほか、区立図書館との連携、こどもの読書活動などをさらに進めていくことを記載します。江東図書館としても、こどもたちに豊かな情報を届けることを強化する方針としているので、学校と連携してこどもたちに何ができるか模索していきたいと考えています。